



2:19 私は早くテモテをあなたがたのところ
に送りたいと、主イエスにあって望んでいま
す。あなたがたのことを知って、励ましを受
けるためです。

2:20 テモテのように私と同じ心になって、真
実にあなたがたのことを心配している者は、
だれもいません。

2:21 みな自分自身のことを求めている、イエ
ス・キリストのことを求めています。

2:22 しかし、テモテが適任であることは、あ
なたがたが知っています。子が父に仕えるよ
うに、テモテは私とともに福音のために奉仕
してきました。

2:23 ですから、私のことがどうなるのか分か
り次第、すぐに彼を送りたいと望んでいます。

2:24 また、私自身も近いうちに行けると、主
にあって確信しています。

2:25 私は、私の兄弟、戦友であり、
あなたがたの使者で、私の必要に仕えてくれ
たエパフロデイトを、あなたがたのところ
に送り返す必要があると考えました。

2:26 彼はあなたがたみなを慕っており、自分
が病気になったことがあなたがたに伝わった
ことを、気にしているからです。

2:27 本当に、彼は死ぬほどの病気にかかりま
した。しかし、神は彼をあわれんでくださ
いました。彼だけでなく私もあわれんでくださ
り、悲しみに悲しみが重ならないようにし
てくださいました。

2:28 そこで、私は大急ぎで彼を送ります。あ
なたがたが彼に再び会って喜び、私も心配が
少なくなるためです。

2:29 ですから大きな喜びをもって、主にあ

て彼を迎えてください。また、彼のような
人たちを尊敬しなさい。

2:30 彼はキリストの働きのために、死ぬば
かりになりました。あなたがたが私に仕え
ることができなかった分を果たすため、い
のちの危険を冒したのです。

テモテとエパフロデイトのことが書かれています。
さまざまな働きの主人公はパウロでしたが、彼も
この二人なしには働きはできなかったでしょう。
このように主のみわざのためには同労者が必要で
す。

自分の働きのために同労者を求めることも大切
です。それは勝手な自分の発想から始まるのでは
ありません。人々が協力してくれるほどの献身の
思いと、主からのビジョンが必要です。

また大切なのは、まず自分自身が同労者となる
ことです。そのような姿勢は、自分主体ではなく
神主体であることの表れです。他の人に協力しな
い、自分の目的ばかり通そうとするようでは、
主のみこころに生きているとは言えないでしょう。

「互いにすぐれている」と思っているような共
同体（また教会）では、主のご計画が分かち合わ
れ、賛同者が生まれ、同労者が与えられるでし
ょう。前進できます。また主の働き人を孤独のま
まにしないように、愛を持って支えましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の
約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願
いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのど
の部分の主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

